

2016 年度事業報告書

I 事業概要

当協会は、滋賀県における国際交流活動を推進する中核的な団体として幅広い国際交流事業を展開しており、2016年度からは第2期中期計画に基づき、「国際感覚に優れたひとづくり」、「多文化共生の地域づくり」、「情報収集・提供による環境づくり」、「ボランティア、民間団体の活動促進」、「協会の基盤整備」の5本柱の事業の取組を進めた。

まず、県民の皆さんにより身近に国際交流を感じてもらうため、びわ湖ホールが主催する“ラ・フォル・ジュルネ”でのキッズプログラムの開催や、県事業への参画による子ども向け体験プログラム「裾野を広げる国際交流～異文化体験～」の開催などの事業を実施した。

また、外国にルーツを持つ青少年の進路選択の一助となるよう取り組んでいる「キャリアデザイン研修」は5年目となり、外国にルーツを持つ青年たちが14職種2学生の各方面で活躍しているゲストから直接話を聞く機会を設ける「職業人と語る会」を開催した。その他、地域における外国人住民に対し多岐にわたる支援を行うとともに、行政、民間団体、NPO間の連携を促進し、外国人住民が地域の一員として安心して滋賀県で生活できる共生社会づくりに取り組んだ。

さらに、学校教育や社会教育で行われる国際教育を推進するため、国際教育に関する実践例や教材等の情報提供、講師派遣を行うなど、人材の育成に取り組んだ。

II 事業実績

[自主] : 自主事業、[助成] : 助成事業、[補助] : 補助事業、[委託] : 委託事業

《 国際感覚に優れたひとづくり 》

1 国際教育啓発事業

(1) 国際教育・開発教育の普及（オリジナル開発教育教材の普及） [自主]

① オリジナル開発教材

独自に開発した国際教育教材の普及を図るため、ワークショップの開催や講師派遣による実演、教材の貸出、販売等を行った。

- | | | |
|----------------------|-------|-------|
| ○「ブラジルボックス」 | 貸出件数： | 37件 |
| ○「非識字体験ゲーム」 | 貸出件数： | 4件 |
| | 販売数： | 11セット |
| ○「言葉がわからない」体験ゲーム震災編 | 貸出件数： | 7件 |
| | 販売数： | 17セット |
| ○「わたしん家の食事からカードゲーム版」 | 貸出件数： | 8件 |
| | 販売件数： | 21セット |

② 国際教育教材体験フェアの開催（共催：JICA 関西）

- 国際教育教材体験フェア in 滋賀

開催日：6月19日（日）
会場：ピアザ淡海（大津市）
参加者：62人

③ 国際教育教材の貸出（オリジナル教材除く）

- ・所蔵数：633冊／点
- ・貸出件数 23件、貸出点数 延べ68点（オリジナル教材を除く）

(2) 国際教育の研究 [自主]

① 国際教育研究会「**Glocal net Shiga**」による研究

研究会開催回数：12回、参加者：延べ134人（開催日：参加者）
(4/17:17人、5/15:18人、6/19:18人、7/31:12人、9/3:5人、
10/2:7人、10/6:8人、11/6:8人、12/4:11人、1/28:11人、
2/26:10人、3/26:9人)

② オリジナル開発教材普及促進のための講師派遣

オリジナル開発教材を活用した授業・研修等に対して講師を派遣し、教材活用の普及および販売促進に努めた。 派遣数：19件

(3) 国際教育の担い手の育成 [自主]

① ファシリテーター養成講座の開催（共催：JICA 関西）

国際教育ワークショップ

「地球市民を地域とともに育てよう Part 15 身近な教材から、国際理解につなげる授業の作り方」

講師：千葉 保さん（元神奈川県小学校校長、
元國學院大學文学部兼任講師）

開催日：1月28日（土）
会場：ピアザ淡海（大津市）
参加者：38人

② 国際教育の相談対応・出張講座のコーディネート

- ア. 国際教育講師紹介、教材・授業案に関する相談対応：85件
- イ. 講師派遣数：37件（オリジナル開発教材講師派遣数含む）
- ウ. 講師（国際協会職員）派遣、訪問研修受入

・ 6/21	湖南省立甲西中学校教員研修	受講者	7人
・ 7/1	豊郷町青少年育成町民会議研修	参加者	40人
・ 7/22	彦根市立城東小学校教員研修	参加者	20人
・ 8/5	大津市国際理解教育部会研修	参加者	14人
・ 8/19	石山高校2年生人権委員研修	参加者	22人
・ 8/24	まほろば児童クラブ	参加者	36人
・ 9/21	国際情報高校2年生人権研修	参加者	240人
・ 10/13	大津市立仰木中学校3年生	参加者	延べ60人
・ 10/26	甲良町立甲良東小学校6年生	参加者	45人
・ 10/31	大津市立平野小学校5年生	参加者	34人
・ 11/2	湖南省立三雲東小学校3年生	参加者	57人

・ 11/30	大津市立日吉中学校 3 年生	参加者	65 人
・ 12/7	甲賀市立甲南第 3 小学校	参加者	45 人
・ 1/17	栗東市立葉山東小学校	参加者	69 人
・ 1/31	秦荘幼稚園 PTA 人権研修	参加者	140 人
・ 2/1	国際情報高校 1 年生人権研修	参加者	240 人
・ 2/16	長浜北高校 1 年生	参加者	320 人
・ 3/28	湖南市立甲西北中学校 PTA 研修	参加者	14 人

エ. 国際教育協働推進事業報告書の発行（3 月）

オ. アドバイス等

- 開発教育協会関西ブロック運営委員会」委員
(主催：(特活) 開発教育協会)
- (特活) 開発教育協会情報誌「DEAR News 179 号」活動紹介執筆
- 県教育委員会主催「学校支援メニュー」ブース出展（7 月 29 日）

③ 「国際教育」に関する教員研修への参画

滋賀県総合教育センターより依頼を受け、10 年経験者を対象とした「国際理解教育」に関する研修を開催した。

[10 年経験者選択研修「国際理解教育」]

- ・ 開催日：8 月 4 日（木）
- ・ 会 場：ピアザ淡海（大津市）
- ・ 参加者：18 人

2 国際交流推進事業

(1) 裾野を広げる国際交流～身近な異文化体験～ [自主]

① 子ども多文化体験プログラム

開催日：5 月 1 日（日）

会 場：ピアザ淡海 2 階 国際情報サロン

内 容：「Natural English! ～英語であそぼう～」 &
「Música do Brasil ～サンバのリズムを知ってるかい?～」

講 師：マーク C ブラッフォード（アメリカ出身）

元 J I C A 青年海外協力隊員

参加者：親子 115 人（全 4 回合計人数）

*びわ湖ホール主催 “ラ・フォル・ジュルネびわ湖 2016” 「キッズプログラム」との連携

② 外国人アーティスト絵画展 in ピアザ淡海

県内に住む外国人アーティストによる絵画展をピアザ淡海ロビーで開催

ア. 「4 番乗り場で 20 分 ～ 20 Minutes on Platform 4 ～」

- ・ 作 家：マデリン トンプソンさん
(アメリカ出身、滋賀県国際交流員)
- ・ 日 時：8 月 28 日（日）～9 月 11 日（日）

・ 作 品：風景画、人物画等約 20 点

イ. 「A PIECE OF PRIDE～フィリピン伝統の布 イナベル展～」

- ・ 出展者：マリシラ 大原さん（フィリピン出身）
- ・ 日 時：12月4日（日）～12月18日（日）
- ・ 作 品：フィリピンの伝統的な綿織物「イナベル」約30点

(2) ミシガン州立大学連合日本センター（JCMU）の管理運営

[委託][自主]

① 施設の維持管理

JCMUの各種プログラムの受講者や教職員のニーズを把握し、快適な環境でセンターを利用できるよう施設の維持管理を適切に行った。

② プログラムの運営支援

センターが開催する英語プログラムの円滑な運営を図るため、広報活動の推進や国内諸機関と連絡調整を図った。

ア. プログラムパンフレットの作成・配布

- ・ 県民向け英語プログラムパンフレット

作成部数：学期用4, 000部/回

作成配布：4回（6月：夏学期、8月：秋学期、11月：冬学期、3月：春学期）

- ・ 土曜子ども英語教室パンフレットの作成・配布

作成部数：2, 500部/回

作成配布：1回（3月）

- ・ 国内留学プログラム

作成部数：1, 500部/回 + ポスター100枚/回

作成配布：2回（7月、11月）

イ. 英語プログラム受講者数（単位：人）

講座名	受講者数
県民向け英語講座（年4学期+集中コース）	386人
うちJCMU会場	298人
うち南草津コース	88人
こども英語教室（彦根）	88人
武庫川女子大学附属中学校	40人
中学・高校英語講座（水口東中学高等学校、河瀬中学高等学校、彦根東高校、米原高校・虎姫高校）	167人
県立看護専門学校	20人
聖泉大学（人間学部、看護学部）	125人
国内留学（2週間集中英語講座）	41人
古河AS株式会社	20人
彦根商工会議所（会員向け英語教室）	50人
近江ツーリズムボード	27人
彦根市役所（職員向け英語教室）	12人

(3) ミシガン日本センターを活用した地域との交流プログラムの実施

① 地域交流プログラム

武庫川女子大附属中との交流会（6月）

水口東中高ワークショップ（6月）

彦根&ミシガン国際交流会（7月）
週末ホームステイ（7月、10月、2月）
米原高校英語研修受講生との交流会（9月）
北大津高校交流（10月、11月）
滋賀県高校生スピーチコンテストへの協力（11月）
虎姫高校科学英語講座プレゼンテーションへの協力（1月）
京都光華女子大との交流会（2月）
河瀬高校ワークショップ（3月）

② 第6回 JCMU 留学生といっしょに親子ハイキング&オープンキャンパス

開催日：9月11日（日）

場 所：JCMUおよび長浜市黒壁周辺

参加者：日本人親子21人、JCMU 留学生16人

大学生サポーター10人 合計47人

概 要：JCMU 留学生と親子一緒（中学生以下）が長浜の町をハイキングしながら、英語や日本語で異文化コミュニケーションを図った。JCMU 施設見学や子ども英語講座の体験などのオープンキャンパスも同時開催。

③ 公開講座の開催

ア. テーマ：「お子さんの家庭における効果的な英語学習」（英）

講 師：クリストファー ガースさん（JCMU 英語プログラム専任教官）

開催日：7月16日（土）

会 場：ミシガン州立大学連合日本センター（彦根市）

参加者：27人

イ. テーマ：「英語に親しもう！クリスマスミニコンサート」

出演者：ボーカルアンサンブル” Jenkins Squad Leaves”

開催日：12月10日（土）

会 場：ミシガン州立大学連合日本センター エントランスホール

参加者：73人

ウ. テーマ：「What will happen under President Trump?」

講 師：ベンジャミン マクラケンさん（JCMU 所長）

開催日：3月18日（土）

会 場：ミシガン州立大学連合日本センター 大会議室

参加者：24人

（参考）

○日本語・日本文化プログラム学生数（単位：人）

・ 短期特別プログラム（5～8月）： 26（41）

・ 夏学期（6～7月）： 42（35）

・ 秋学期（9～12月）： 25（36）

・ 春学期（1～4月）： 35（32）

計：128（144）

※（ ）書きは、前年の学生数・受講者数

(4) ミシガン州友好親善使節団の派遣〔自主〕

派遣人員 45人
派遣期間 8月24日(水)～31日(水) (うちホームステイ4泊5日)
滞在都市 ランシング市、デウィット市、エイドリアン市、マーシャル市、
ペトスキー市、アナーバー市、ロイヤルオーク市、グランドラ
ピッズ市、ホルト市、オケモス市、リボニア市、ハスレット市
他

(5) 姉妹友好州省等交流代表団の受入れ等〔委託〕

① 長沙明照学院団受入

受入人員 3人
受入期間 7月4日(月)～5日(火)

② 袁隆平農業高科技股份有限公司国際培訓学院受入

受入人員 4人
受入期間 9月19日(月)～21日(水)

③ 中国国際貿易促進委員会湖南省分会団受入

受入人員 40人
受入期間 10月18日(火)～19日(水)

④ 海外自治体幹部交流協力セミナー(中国)受入

受入人員 10人
受入期間 11月9日(水)～11日(金)

⑤ さくらサイエンスプラン団

受入人員 8人
受入期間 12月5日(月)～12月14日(水)

⑥ インドネシア総領事館団

受入人員 5人
受入期間 3月1日(水)

3 国際協力の促進

海外技術研修員の受入〔委託〕

受入人員 : 3人(中国湖南省 3人)
受入期間 : 8月22日(月)～12月22日(木) (3人) (4ヶ月間)
専門技術習得 : 商業・サービス業【水口センチュリーホテル(株)】
観光業務・政策【(株)琵琶湖グランドホテル、
滋賀県商工観光労働部観光交流局】
旅行業【東武トップツアーズ(株)、
(公社)びわこビジターズビューロー】

《 多文化共生の地域づくり 》

1 外国人住民への支援

(1) 外国人相談窓口 [補助]

県内の外国人住民等からの医療や教育など様々な相談に対して、必要な情報の提供や助言を行った。

対応言語・相談日時：

- ・ポルトガル語、スペイン語
(月曜日～金曜日 10:00～17:00)
- ・タガログ語、英語
(月曜日～木曜日 10:00～17:00)

相談件数：850件(前年度 995件、対前年度比85.4%)

相談内容：医療152件(構成比：17.9%)、教育121件(14.2%)、
在留資格49件(5.8%)、生活313件(36.8%)、労働90件
(10.6%)、住宅17件(2.0%)、その他108件(12.7%)

(2) 外国人相談員等研修会、連絡会議の開催 [補助]

① 研修会

ア. 第1回研修会

テーマ：「法テラスの業務とよくある相談」

講師：天野 真佑子さん(法テラス滋賀法律事務所 弁護士)

開催日：2月27日(月)

会場：ピアザ淡海(大津市)

参加者：20人

イ. 第2回研修会

テーマ：「10年短縮年金と社会保障協定」

講師：宮原 千代美さん

(宮原社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士)

開催日：3月15日(水)

会場：ピアザ淡海(大津市)

参加者：13人

② 連絡会議

第1回：2月27日(月) 11人、第2回：3月15日(水) 9人

(3) 外国人向け情報紙「みみタロウ」の発行 [補助] [自主]

発行回数：年6回(No.117～No.120(偶数月発行))

発行部数：計20,000部/回

(内訳) 日：3,400部、英：2,600部、ポ：4,300部、ス：2,400部、
ハ：1,500部、中：2,400部、台：1,300部、タ：2,100部

(4) 外国にルーツを持つ子どもへの教育支援

① 多言語での進路ガイダンスの開催 [助成] [自主]

ア. 第1回

開催日：9月11日(日)

会 場：草津市立まちづくりセンター（草津市）

参加者：48人

イ. 第2回（共催：長浜市教育委員会）

開催日：10月30日（日）

会 場：勤労者福祉会館「臨湖」（長浜市）

参加者：28人

② 外国にルーツを持つ高校生へのキャリアデザイン研修 [助成] [自主]

ア. 「職業人と語る会」の実施

開催日：7月21日（木）

会 場：野洲文化小劇場（野洲市）

参加者：外国にルーツを持つ高校生 44人

（県内のブラジル人学校を含む5校1機関より）

概 要：各方面で職業人として活躍されているゲストや先輩（14職種、2学生）から高校生が相談会形式で直接話しを聞く機会を設けた。

[ゲスト職種]

弁護士、語学講師・通訳、美容師、自動車関係、精密板金加工、建築関係、起業家、パティシエール、パン職人、看護師、介護福祉士、保育士、ホテル業、飲食業、現役大学生、専門学校生

イ. ブラジル人学校での出前授業への協力

講 師：森 雄二郎さん（聖泉大学 講師）

開催日：11月21日（月）

会 場：日本ラチーノ学院（東近江市）

参加者：高校1年：14人、3年生：16人

③ 外国にルーツを持つ子どもへの日本語指導者養成講座 PartIX

[助成] [自主]

テーマ：「DLA～外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントへの活用について」

講 師：櫻井 千穂さん（同志社大学日本語・日本文化教育センター 准教授）

開催日：8月19日（金）

会 場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：42人

(5) 災害時外国人支援

① 多言語非常持出袋、防災多言語資料の貸出

○多言語非常持出袋貸出 貸出件数：1件

○防災多言語資料貸出 貸出件数：1件

② 消防職員対象緊急時外国人対応に関する研修会への講師派遣等

ア. 全国市町村国際文化研修所消防職員対象研修

日 時：5月31日（火）

会 場：全国市町村国際文化研修所（大津市）

対 象：消防職員 21人

内 容：外国人とともに行う防災活動
イ. 滋賀県消防学校消防職員初任教育研修

日 時：9月7日（水）

会 場：滋賀県消防学校（東近江市）

講 師：滋賀県国際交流員、協会職員

対 象：新任消防職員 56人

内 容：緊急時・災害時の外国人対応について

・「言葉がわからない体験ゲーム何が起こった？（震災編）」を用いたワークショップ

・消防英語、ポルトガル語および「やさしい日本語」による対応について

③ 近畿ブロックでの災害時外国人支援の検討

近畿の地域国際化協会で構成する「災害時の外国人支援に関するネットワーク近畿ブロック研究会」の一員として広域連携の強化を図り、同研究会で開催する研修会や訓練への参加により、災害時の広域連携マニュアルの実効性を検証し、予防対策と発災後対応（応急対策）の両面から支援体制づくりを行った。

【研究会】4回（6/9、10/18、12/22、3/23*） ※3/23のみ不参加。

会 場：大阪国際交流センター

【研修会への参加】

ア. 避難所宿泊訓練・多言語支援センター設置訓練

（主催：京都市国際交流協会）

開催日：6月18日（土）～19日（日）

会 場：京都市国際交流会館

内 容：外国人住民と地域住民を交えた避難所運営、外国人参加者との発災後シミュレーション研修

参加者：当協会職員 1人（他、近畿各府県協会職員、ボランティア、京都市内・近郊の外国人住民）

イ. 緊急連絡シミュレーション訓練を実施

実施日：1月19日（木）

【共催研修】

ア. 「災害時多言語支援センター運営訓練（主催：大阪府国際交流財団）

日 時：1月17日（火）

会 場：マイドームおおさか（大阪市）

内 容：外国人への情報提供および相談対応訓練

参加者：約50人 うち当協会職員1人、災害時外国人サポーター2人
甲賀市職員1人

イ. やさしい日本語（京都府） 職員1人、ボランティア2人参加

日 時：3月9日（木）

会 場：メルパルク京都（京都駅前）

内 容：「やさしい日本語」カテゴリⅡについて

参加者：22人 うち当協会職員1人、災害時外国人サポーター2人

ウ. 災害時多言語支援センター設置・運営訓練（大阪市）

日 時：3月12日（日）13:00～16:00

場 所：大阪国際交流センター（大阪市天王寺区上本町8丁目2-6）

参加者：25人 うち当協会災害時外国人サポーター2人

④ アドバイス等

- 滋賀県災害ボランティア連絡協議会（事務局：滋賀県社会福祉協議会）ワーキンググループおよび委員
- 甲賀市災害時外国人支援調査検討会委員。同会実施の災害時多言語支援センター設置運営訓練にアドバイザーとして参加。

日 時：3月5日（日）

会 場：自主活動センターきずな（甲賀市水口町）

(6) その他の外国人支援 [自主]

① 日本語教育の支援

ア. 日本語指導者養成講座（共催：びわこ日本語ネットワーク）

開催日：8月28日（日）（午前・午後＝第1回・第2回）

講 師：浅井 華代さん

会 場：コミュニティセンターやす（野洲市）

参加者：60人

イ. シンポジウム（共催：びわこ日本語ネットワーク）

テーマ：「災害に備えてみんなで考えよう～日本語教室の今後の取組み
外国人も日本人も自分で自分を守るために～」

開催日：7月17日（日）

話題提供者兼コーディネーター：

高木 和彦さん（(特括)多文化共生マネージャー全国会議副代表理事）

パネリスト：

上原 ジャンカルロさん（(公財)三重県国際交流財団）

川嶋 清一さん（滋賀県地域防災アドバイザー）

山下 玲子さん（長浜ユネスコ協会日本語教室）

會田 真由美（(公財)滋賀県国際協会）

参加者：90人

ウ. びわこ日本語ネットワーク「第13回外国人による日本語スピーチ大会」への開催協力

開催日：2月19日（日）

会 場：能登川コミュニティセンター（東近江市）

来場者数：200人

参加人数：90人

■滋賀県国際協会会長賞：「真の日中友好のために」

劉 彩鈴さん（中国）

エ. びわこ日本語ネットワーク「防災学習テキスト『いのちをまもる』～地震や台風にあった時～」作成協力

② 県内日本語教室等の情報提供

外国人向け情報紙およびホームページで県内日本語教室や外国人相談窓口情報の提供を行った。

③ 日本語教材・ブラジル教科書・関連図書の貸出

教材蔵書数：340冊 貸出件数：7件、延べ13冊

ブラジル教科書蔵書数：51冊、貸出件数：2件、延べ10冊

④ 多言語情報の提供等

外国語が通じる病院の情報提供、防災情報、多文化共生学校づくり支援サイト、多言語子育て情報サイト、生活Q&A等で随時情報を提供した。

(7) 外国籍学生等への奨学金の支給 [自主]

① びわこ奨学金支給事業（基金：3億円）

- ・留学生 支給額：月額20,000円 支給人員：10人（申請16人）
- ・外国籍大学生 支給額：月額20,000円 支給人員：3人（申請5人）

【びわこ奨学金授与式】

日 時：7月10日（日）

会 場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：奨学生12人および引率者6人

2. 多文化共生によるまちづくり

(1) 防災から広げる共生のまちづくり

① 滋賀県総合防災訓練出展

日 時：9月11日（日）

会 場：彦根市荒神山公園（彦根市）

内 容：「言葉がわからない」ミニ体験クイズ、多言語防災資料展示・配布、東日本大震災等における外国人支援活動紹介パネル等

協 力：災害時外国人サポーター・ボランティア・びわこ奨学生 計3人

② 彦根人権のまちづくりフェスタでの防災啓発

出展者：（公財）滋賀県国際協会・彦根市国際協会・JICA 滋賀デスク

日 時：9月22日（木・祝）

会 場：ひこね市文化プラザ（彦根市）

内 容：「言葉が分からない」体験ワーク、多言語防災資料展示

参加者総数：2,100人（主催者発表）

協力者：SIA ボランティア、県国際交流員、JICA インターン

※彦根市国際協会と協働で実施。

③ 長浜市「楽しく学ぼう！美味しく学ぼう！身近な防災ワークショップ」

日 時：1月9日（月・祝）

会 場：姉川防災コミュニティセンター（長浜市）

内 容：発災後の行動シミュレーション

対 象：市内の外国人、市民ボランティア等

参加者：33人

※長浜市・長浜市民国際交流協会実施事業に協力。

(2) 多文化共生に関する情報提供やアドバイス等 [自主]

① 外国人住民支援・多文化共生に関する相談対応：120件

② アドバイス等

- 「公立学校における帰国・外国人児童生徒に対するきめ細やかな支援事業フォーラム」 ブース出展協力(10/13)

- 長浜市多文化共生・国際化のまちづくり市民会議委員

- 草津市国際交流協会「平成 28 年度文化庁助成事業『生活者としての外国人』のための日本語教育事業」運営委員
- 滋賀県多文化共生市町ワーキング オブザバー参加
- 滋賀県外国人介護職員養成事業への実施協力

○講師等（国際協会職員）派遣

・ 9/29	2016 年度 甲良町町民人権問題学習講座（リーダー養成講座）「共に地域に暮らす人として」～外国人も日本人も誰もが安心して、生き生きと暮らしていける地域づくりを目指して～	受講者	200 人
・ 11/29	日吉中学校第 3 学年人権学習 「生き方講話」（担当：3 年 5 組）	受講者	33 人
・ 2/23	龍谷大学外国人特別研究員調査ヒアリング受入れ 研究テーマ「Urban change, diversity and social Inclusion」	訪問者	2 人
・ 3/8	（一財）自治体国際化協会 多文化共生事業ローカライズ研修	受講者	18 人

《情報収集・提供による環境づくり》

1 情報収集・提供事業

(1) 国際交流・協力情報誌「SIA しーあ」の発行 [補助] [自主]

発行回数：年 3 回

103 号（7 月）、104 号（11 月）、105 号（3 月）

発行部数：2, 500 部/回

(2) メールマガジン「滋賀県国際交流ニュース」の配信 [自主]

発行回数：毎月 1 回

送信件数：300 件/回

(3) インターネット・ホームページによる情報提供 [自主]

① 協会ホームページアクセス数：32, 441 アクセス（前年度 33, 822）
月平均：2, 703 アクセス（前年度 2, 818）

② S I A Facebook アクセス数：71, 287 アクセス（前年度 40, 895）
（参考：記事投稿件数 451 件）（前年度 181）

(4) 国際情報サロンによる情報提供 [自主]

① サロン展示事業および啓発展示

「わたしもできる！国際協力」「ブラジル特集」「世界の民族衣装アジア編」「フィリピン特集」「滋賀県の姉妹友好州省」

② 交流スペースの貸出 35 回（日本語教室等）

- ③ 国際情報サロン図書等の貸出（日本語教材、国際教育教材を除く）
国旗の貸出 ・貸出：7件、延べ19ヶ国（普通旗・卓上旗）

- (5) 関連機関・団体との連携・協働による事業実施 ※再掲
- ・ 県教育委員会、市教育委員会等（進路ガイダンスの実施）
 - ・ 滋賀県進路保障推進協議会等（キャリアデザイン研修の実施）
 - ・ 滋賀県医療福祉推進課（外国人介護職員養成事業の実施協力等）
 - ・ （公財）びわ湖ホール（ラフォルジュルネびわ湖2016キッズプログラムの実施）
 - ・ JICA 関西（開発教育・国際教育研修の実施）

(6) 海外渡航の支援 [自主]

- ① 渡航相談業務 6件
- ② 写真撮影（パスポート用写真の撮影）
撮影日および時間：月曜日～金曜日 9:00～16:30
撮影場所：パスポートセンター（ピアザ淡海1F）横
利用者数：15,915人（前年度 13,006人）

《ボランティア、民間団体の活動促進》

1 ボランティアの活動促進

(1) S I Aボランティアの登録・紹介（3月31日現在）

国際交流支援 登録：73人、紹介：7件、延べ15人
ホームステイ・ホームビジット 登録：64人、紹介：4件、17家庭
通訳・翻訳 登録：109人、紹介：7件、延べ13人
登録者数合計 延べ 246人（166人）

- ・ ボランティアオリエンテーション：随時
- ・ 関西国際交流ボランティアネットワーク会議（KIV-NET）運営委員

(2) 災害時外国人サポーター登録制度（3月31日現在）

登録者数：97人

① 災害時外国人支援講座・研修への参加コーディネート

ア. 「やさしい日本語～カテゴリーⅡを中心に」研修
日 時：3月9日（木）（主催：近畿地域国際化協会連絡協議会）
会 場：京都府国際センター（京都市）
内 容：災害時および平時に有効なやさしい日本語の作成手順
当協会登録サポーター参加：2人

イ. 区内版災害時多言語支援センター設置・運営訓練

日 時：3月12日（日）（主催：近畿地域国際化協会連絡協議会）
会 場：大阪国際交流センター（大阪市）
内 容：支援センターの役割についての講義と避難所ロールプレイ訓練
当協会登録サポーター参加：2人

② 滋賀県災害時外国人サポーター養成講座開催協力（主催：滋賀県）

日 程：2月11日（土）
会 場：草津市役所2階特別大会議室（草津市）

参加者：約40人

内 容：「災害が起きたとき外国人をITで守る検証ワークショップ
in 草津」

IT技術者や災害支援ボランティアらが災害時の情報提供について、
ITツールを使う場合と使わない場合におけるメリット・デメリット
を検証し、課題解決につなげる試みとした。

(3) ボランティア情報の発信

 メーリングリストによる情報提供：47件

 ボランティア相談対応：42件

2 民間団体の活動促進

(1) 滋賀県国際交流推進協議会の運営支援 [自主]

参加団体：68団体（地域協会部会 16団体、団体部会 52団体）

① 全体会議・部会会議

開催日：7月7日（木）

会 場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：40人（全体会議）、39人（地域協会部会・団体部会会議）

② 団体部会研修会

開催日：11月9日（水）

会 場：日本ラチーノ学院（東近江市）

参加者：23人

概 要：学院視察および地元住民等との意見交換

③ 地域協会部会研修会

開催日：11月28日（月）

会 場：国際交流ハウスGEO（長浜市）

参加者：24人

概 要：長浜市民国際交流協会事業紹介、意見交換等

④ 全体研修会

開催日：7月7日（木）

会 場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：34人

テーマ：「医療通訳を通じて見えること」

講 師：劔持 藍子さん（AMDA 国際医療情報センター職員）

⑤ 運営委員会

開催回数：2回

開催日：4月13日（水）、3月21日（火）

(2) 国際交流推進セミナーの開催 [自主]

開催日：3月21日（火）

会 場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：30人

テーマ：「食を通して異文化交流」

講 師：朝倉 敏夫さん（立命館大教授、同国際食文化研究センター長）

(3) 民間活動団体等への支援 [自主]

「しが外国籍住民支援ネットワーク」の構成団体として運営委員への参画などを通じて活動を支援。

- ・その他、後援事業数 19件、協力事業数 1件
- ・その他、県内の関連団体等からの相談に随時対応。

3 JICA国際協力推進員の活動

独立行政法人国際協力機構関西国際センターから駐在（1人）

国際協力に対する県民の理解促進と支持の拡大および国際協力活動への参加促進を目的に活動した。

《 協会の基盤整備 》

会員向け事業やサービスの充実を図るとともに、講座や子ども向けイベント、ワークショップ開催時など様々な機会において入会の案内を行った。

来所者や国際情報サロン利用者に対して事業の案内を行い、会員確保に向けて継続的な啓発を行った。

* 税額控除証明書を2012年11月29日に取得

（個人からの寄付《会費も含む》について、税額控除される法人として認められた。）

会員数

個人会員	： 299人	（前年度末：314人）
団体会員	： 91団体	（前年度末：89団体）
計	390会員	（前年度末：403会員）